

2011年12月13日

参加チーム各位

第3回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

実行委員長/学生委員長 泉田 昌美

競技運営・審判委員長 塚本 隆之

エントリー標準タイムについて

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の大会運営にご協力いただき感謝いたします。  
さて、第3回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会のエントリー標準タイムは以下の通りです。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示し、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイムを突破していることが条件です。また、エントリー標準タイムは、「当該種目と同様の競技形式」です。ご注意ください。エントリー標準タイムを設定することにより、大会運営上、選手や競技役員への負担が軽減されるとともに、全日本選手権として競技レベルの向上が期待されます。

■第3回（2011年度）全日本学生プール競技選手権のエントリー標準タイム

<種目別エントリー標準タイム>

種目（個人種目のみ）	エントリー標準タイム	
	男子	女子
200m 障害スイム	2' 50" 00	3' 20" 00
50m マネキンキャリー	50" 00	1' 00" 00
100m レスキューメドレー	1' 40" 00	2' 10" 00
100m マネキンキャリー・ウイズフィン	1' 30" 00	1' 50" 00
100m マネキントウ・ウイズフィン	1' 30" 00	1' 40" 00
200m スーパーライフセーバー	3' 20" 00	3' 50" 00

<注意>

1. チーム種目および特別種目にはエントリー標準タイムを設けません。
2. 過去の JLA 主催または公認大会の記録を申告する場合は、2006 年度以降の大会の記録であれば認められます。
3. エントリー標準タイムを突破しているか否かについては、自己申告とします。JLA の過去の主催または公認大会の記録以外、たとえばクラブの練習会などで測定した記録も認められます。ただし、エントリーの際のタイム申告は、組（ヒート）を決定するための資料としますので慎重に申告してください。
4. 大会の記録が、エントリー標準タイムから著しく遅い場合、審判長の判断により競技者本人およびクラブ代表者に対して処分を検討することがありますので注意してください。

以上